２０２２年度　　小樽歯科衛生士専門学校

学校関係者評価

学校の教育目標
＜教育理念＞人間性豊かな歯科衛生士として、 地域の保健医療に貢献できる医療人を育成する

「愛と知と技を備えた」

項目	評価
建学の趣旨と教育の方針	ホームページなどの媒体を利用するなどして今以上に周知を図っていく努力をすること。
学校運営	教職員の更なる連携が必要と思われる。 非常事態時には作成した対策にそった適切な対応が必要。 コンプライアンスやハラスメントに関して、より一層適切な対応をすることが必要になる。
教育活動	授業担当教員、歯科衛生士教育に適した人材の確保,育成が重要である。 教育内容充実の為、教員相互の情報、意見交換を積極的に行うこと。 導入した遠隔授業などを有効的に活用し学習の継続を図ること。 実習先との連絡を密にするとともに、実習先からの意見も取り入れること。 基幹教員の研修会参加を充実させる。
学修成果	国家試験は、１名が不合格になったことを、重く受け止める。 国家試験の難易度が上昇する傾向のため、今後も充分な対策が必要。 進級について、学修習熟度の判断を、今以上に厳正とする必要がある。 一部卒業生の就職が難航したが、今後も適切な就職指導を行ってほしい。
学生支援	担任との個人面談等で個人に合わせた指導方法を行ってください。 健康管理についても、学生の動向に注意を払っていくことが大切である。 卒業後のフォローとして、歯科医師会や同窓会との連携が必要と考えます。
教育環境	教室の音響設備、オンライン授業の設備については、活用ができるように 方法等を充実させてください。 実習室の修理や整備等の対応を行う必要があると思います。
学生募集	コロナ禍の影響が残り、学生募集活動が従前どおりにはできない状態で、 入学生が１９名と少ない結果でした。厳しい状況は続くと考えられますが、 オープンキャンパスや、高校訪問、進学相談会など、今後の状況を鑑みて 計画、実施、参加してください。ＨＰを更に充実させ、効果的に活用し、 知名度のアップ、入学生の増加につながることを期待しています。
財務	新入学者が19名ということで、収入が減少します。２年連続で入学者が少ない 状況ですので、次年度の入学者増への努力を重ねてください。 使用量は減少しても光熱費の高騰が顕著です。物価の高騰も続いており、 物品購入と合わせて、今後の動向を注視していくことが必要です。 今後、実態に即した学費の額を検討する必要があるかもしれません。